

令和元年度 第3回デ活シンポジウム

「企業も強くなる 首都圏も強くなる

～首都圏を襲う台風災害の怖さを改めて学ぶ～

日時 2019年12月16日(月) 14:00～17:00

場所 都道府県会館 1F 101大会議室

挨拶

石山 信郎(文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室 室長補佐)

本日は、年の瀬のお忙しいところを各界でご活躍の皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

本年4月までは平成31年で、5月から令和元年になりましたが、本年も多くの災害に見舞われました。主なもので、6月には山形県沖地震、秋には台風15号・19号・21号、また低気圧の大雨の影響で多くの災害が発生しました。被害に遭われた皆さまに、お見舞いを申し上げます。

本日のデ活シンポジウムは「首都圏を襲う台風災害の怖さを改めて学ぶ」というテーマです。首都圏を含め全国に長期的な影響を及ぼした本年の災害は、同時多発広域災害という形になったわけですが、この豪雨・台風災害に関して防災科学技術研究所が中心となって行ったさまざまな活動を紹介頂けると聞いています。また第2部では、今回新たに立ち上がったインフラ分科会も紹介頂けると聞いています。災害時において、ライフラインや交通インフラの復旧・復興状況は企業の事業継続や個人の生活再建にとって特に重要な情報です。それをテーマとした分科会が立ち上がったということで、今後の活動に期待し、本日の報告を注意深く聞きたいと思っております。

さらにパネルディスカッションでは、今回も下村先生がモデレーターを担当されると聞いています。今年の豪雨・台風災害で、組織・個人レベルで少なからず被害を受けた方がこの会場の中にもいるのではないかと思います。そのような災害に遭ったときに、われわれはどう対応しなければいけないのか、また、そのときにどのようなデータや情報が活用できるのか、今後の首都圏を中心とした日本全体のレジリエンス総合力の向上・強化に向けて、デ活が取り組むべき課題等について議論を進めていただければと考えています。

このシンポジウムは、首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクトの活動の一環として行っています。このプロジェクトのキャッチフレーズは「企業も強くなる 首都圏も強くなる」です。組織・個人レベルでレジリエンス力を向上させることが、地域のレジリエンス力の向上にとって不可欠であり重要であるとわれわれは考えています。皆さまには、本日のシンポジウムの中から、防災対策、レジリエンス力の向上につながるヒントを持ち帰っていただければと考えています。

最後に、首都圏を中心としたレジリエンス総合力の向上に向けて企業・自治体の皆さまとの連携をさらに強化し、その成果を社会実装の道筋へとつなげていくためにも、本日のシンポジウムが有意義なものとなることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。